

令和元年度

草加八潮消防組合決算審査意見書

|| 一般会計 ||

草加八潮消防組合監査委員





草加八潮監第35号  
令和2年10月23日

草加八潮消防組合管理者 浅井昌志様

草加八潮消防組合監査委員 中村幸彦

草加八潮消防組合監査委員 白石孝雄

令和元年度草加八潮消防組合一般会計歳入歳出決算審査意見について

地方自治法第233条第2項の規定により、審査に付されました令和元年度草加八潮消防組合一般会計歳入歳出決算について審査しましたので、次のとおり意見を提出します。





草加八潮監第35号  
令和2年10月23日

草加八潮消防組合副管理者 大 山 忍 様

草加八潮消防組合監査委員 中 村 幸 彦

草加八潮消防組合監査委員 白 石 孝 雄

令和元年度草加八潮消防組合一般会計歳入歳出決算審査意見について

地方自治法第233条第2項の規定により、審査に付されました令和元年度草加八潮消防組合一般会計歳入歳出決算について審査しましたので、次のとおり意見を提出します。



## 目 次

### 令和元年度草加八潮消防組合一般会計歳入歳出決算審査意見

|     |                              |           |
|-----|------------------------------|-----------|
| I   | 審査の対象                        | 1         |
| II  | 審査の期間                        | 1         |
| III | 審査の方法                        | 1         |
| IV  | 審査の結果                        | 1         |
| V   | 審査の概要                        | 2         |
| 1   | 一般会計                         | 2         |
| (1) | 決算収支                         | 2         |
| (2) | 歳入                           | 4         |
| (3) | 歳出                           | 13        |
| 2   | 実質収支に関する調書                   | 20        |
| 3   | 財産に関する調書                     | 20        |
| (1) | 公有財産                         | 20        |
| (2) | 物品                           | 20        |
| 4   | むすび                          | 20        |
|     | <b>一般会計決算審査資料</b>            | <b>24</b> |
|     | 資料1 一般会計歳入決算額前年度比較表          | 24        |
|     | 資料2 一般会計財源別(自主財源・依存財源)前年度比較表 | 26        |
|     | 資料3 一般会計歳出決算額前年度比較表          | 28        |
|     | 資料4 職員年齢分布                   | 30        |

(注1) 文中で用いる金額は、原則として万円単位で表示し、単位未満は切り捨てています。このため、合計と内訳の計、差引き等が一致しない場合があります。

また、グラフ中の金額は単位表示未満を切り捨てています。

なお、円単位で表示する必要がある場合は実数値で表示しています。

(注2) 数値の単位未満の端数は、原則として四捨五入しています。このため、合計と内訳の計、差引き等が一致しない場合があります。

(注3) 表中の百分率の比較単位はポイントであり、表示については文中を含め単純差引きしています。

(注4) 各表中の符号等の用法は、次のとおりです。

「0.0」 当該数値はあるが単位未満のもの

「-」 当該数値がない又は資料中、比率が1,000%以上のもの

「△」 マイナス



# 一 般 会 計



# 令和元年度草加八潮消防組合 一般会計歳入歳出決算審査意見

## I 審査の対象

- 1 令和元年度草加八潮消防組合一般会計歳入歳出決算
- 2 令和元年度実質収支に関する調書
- 3 令和元年度財産に関する調書

## II 審査の期間

令和2年8月28日から令和2年10月16日まで

## III 審査の方法

令和元年度草加八潮消防組合一般会計歳入歳出決算書及び歳入歳出決算事項別明細書等の決算附属書類が関係法令に準拠して作成されているか、予算が適正かつ効率的に執行されているか、また、計数も正確であるかについて関係諸帳簿及び証拠書類との照合等により確認するとともに、例月出納検査の結果等を参考とするなどにより審査を行いました。

## IV 審査の結果

審査に付された令和元年度草加八潮消防組合一般会計歳入歳出決算書及び決算附属書類は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、決算計数も関係諸帳簿及び証拠書類と符合しており、誤りのないものと認められました。

## V 審査の概要

### 1 一般会計

#### (1) 決算収支

決算収支状況は、次のとおりです。

(単位:円)

| 区 分                            | 元 年 度         | 3 0 年 度       | 比 較 増 減      |
|--------------------------------|---------------|---------------|--------------|
| 予 算 現 額                        | 3,974,067,000 | 3,694,797,000 | 279,270,000  |
| 歳 入 決 算 額 (A)                  | 3,968,572,129 | 3,697,863,139 | 270,708,990  |
| 歳 出 決 算 額 (B)                  | 3,744,375,566 | 3,470,121,123 | 274,254,443  |
| 形 式 収 支 (C)<br>( A - B )       | 224,196,563   | 227,742,016   | △ 3,545,453  |
| 翌年度へ繰り越すべき財源 (D)               | 0             | 11,664,000    | △ 11,664,000 |
| 実 質 収 支 (E)<br>( C - D )       | 224,196,563   | 216,078,016   | 8,118,547    |
| 繰 上 償 還 額 (F)                  | 0             | 0             | 0            |
| 実 質 単 年 度 収 支 (G)<br>( E + F ) | 224,196,563   | 216,078,016   | 8,118,547    |

(注) 平成30年度の実質収支額は、令和元年度において組合構成市へ全額、返還金処理を行っています。

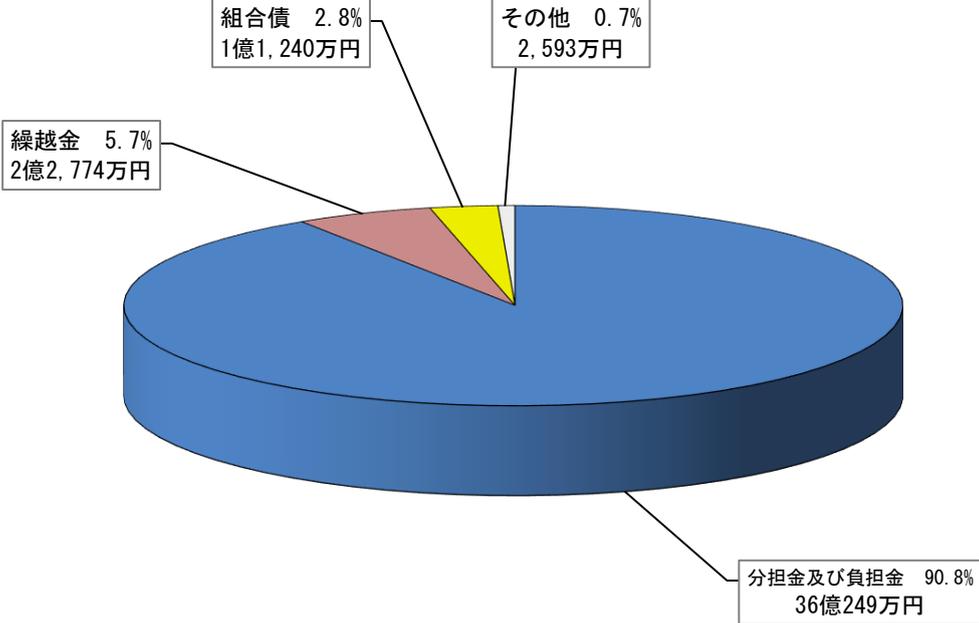
予算現額は 39億7,406万円で、前年度に比べ 2億7,927万円 (7.6%) 増加しています。  
これに対する決算額は、次のとおりです。

歳 入 39億6,857万円 (予算現額に対する割合 99.9%)  
歳 出 37億4,437万円 (予算現額に対する割合 94.2%)

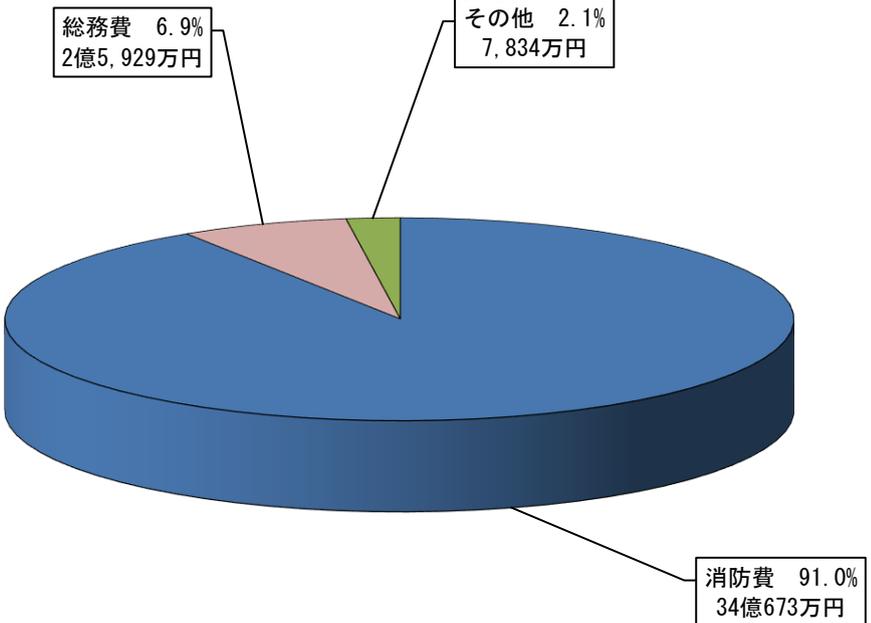
この歳入決算額から歳出決算額を差し引いた形式収支は 2億2,419万円 (前年度に比べ 354万円減少) となり、翌年度へ繰り越すべき財源及び繰上償還額がないことから、実質収支及び実質単年度収支は形式収支と同額の 2億2,419万円 (前年度に比べ 811万円増加) となります。

|                         |            |
|-------------------------|------------|
| 歳 入 決 算 額 (A)           | 39億6,857万円 |
| 歳 出 決 算 額 (B)           | 37億4,437万円 |
| 形 式 収 支 (A—B) (C)       | 2億2,419万円  |
| 翌年度へ繰り越すべき財源 (D)        | 0円         |
| 実 質 収 支 (C—D) (E)       | 2億2,419万円  |
| 繰 上 償 還 額 (F)           | 0円         |
| 実 質 単 年 度 収 支 (E+F) (G) | 2億2,419万円  |

歳入決算額 39億6,857万円



歳出決算額 37億4,437万円



## (2) 歳 入

歳入決算状況は、次のとおりです。

(単位:円・%)

| 区分<br>年度 | 予算現額          | 調定額           | 収入済額          | 予算現額と<br>収入済額との比較 | 収 入 率 |       |
|----------|---------------|---------------|---------------|-------------------|-------|-------|
|          |               |               |               |                   | 対予算   | 対調定   |
| 元        | 3,974,067,000 | 3,969,880,589 | 3,968,572,129 | △ 5,494,871       | 99.9  | 100.0 |
| 30       | 3,694,797,000 | 3,697,863,139 | 3,697,863,139 | 3,066,139         | 100.1 | 100.0 |
| 増減       | 279,270,000   | 272,017,450   | 270,708,990   | △ 8,561,010       | △ 0.2 | 0.0   |

予算現額 39億7,406万円に対する収入済額（歳入決算額）は 39億6,857万円（収入率 99.9%）で、予算現額と収入済額との比較では 549万円減少しています。

款別にみた主な内訳は、次のとおりです。

|      |       |    |
|------|-------|----|
| 組合債  | 594万円 | 減少 |
| 財産収入 | 93万円  | 減少 |
| 諸収入  | 139万円 | 増加 |

収入済額を款別にみますと、次表の款別歳入決算額のとおり、前年度に比べ 2億7,070万円(7.3%)増加しています。

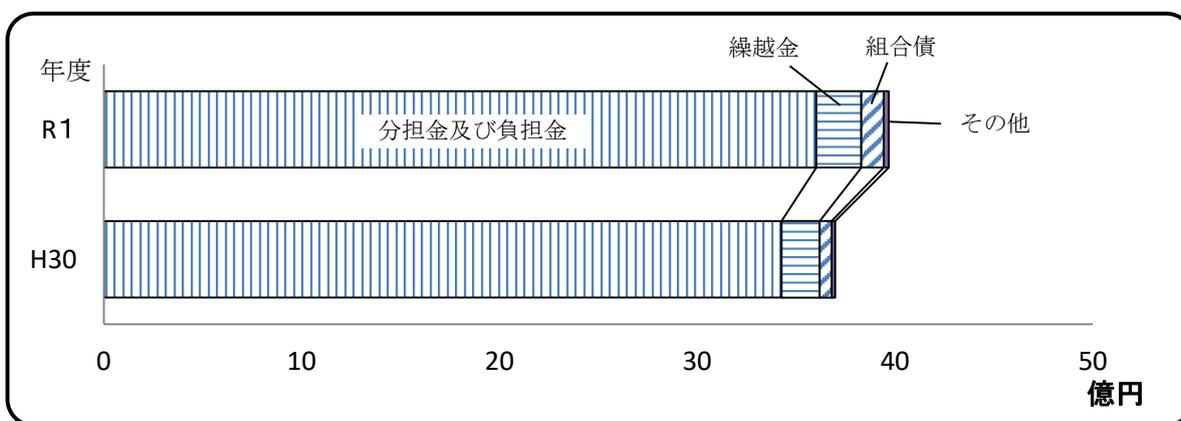
この主な内訳は、次のとおりです。

|          |           |    |
|----------|-----------|----|
| 分担金及び負担金 | 1億7,579万円 | 増加 |
| 組合債      | 5,240万円   | 増加 |
| 繰越金      | 3,494万円   | 増加 |
| 国庫支出金    | 1,403万円   | 皆増 |
| 諸収入      | 273万円     | 減少 |
| 使用料及び手数料 | 246万円     | 減少 |

款別歳入決算額

(単位:円・%)

| 款          | 元年度           | 構成比   | 30年度          | 比較増減        |
|------------|---------------|-------|---------------|-------------|
| 1 分担金及び負担金 | 3,602,492,000 | 90.8  | 3,426,693,000 | 175,799,000 |
| 2 使用料及び手数料 | 3,628,014     | 0.1   | 6,090,350     | △ 2,462,336 |
| 3 財産収入     | 3,684,680     | 0.1   | 4,955,079     | △ 1,270,399 |
| 4 寄附金      | 0             | 0.0   | 0             | 0           |
| 5 繰越金      | 227,742,016   | 5.7   | 192,798,477   | 34,943,539  |
| 6 諸収入      | 4,588,419     | 0.1   | 7,326,233     | △ 2,737,814 |
| 7 組合債      | 112,400,000   | 2.8   | 60,000,000    | 52,400,000  |
| 8 国庫支出金    | 14,037,000    | 0.4   | —             | 14,037,000  |
| 合計         | 3,968,572,129 | 100.0 | 3,697,863,139 | 270,708,990 |



その他  
使用料及び手数料、財産収入、諸収入、国庫支出金

また、調定額 39億6,988万円から収入済額を差し引いた額 130万円は収入未済額であり、前年度に比べ皆増しています。

この内訳は、次のとおりです。

財産収入（使用料及び賃借料） 130万円 皆増

財源別にみた歳入の構成状況は、次のとおりです。

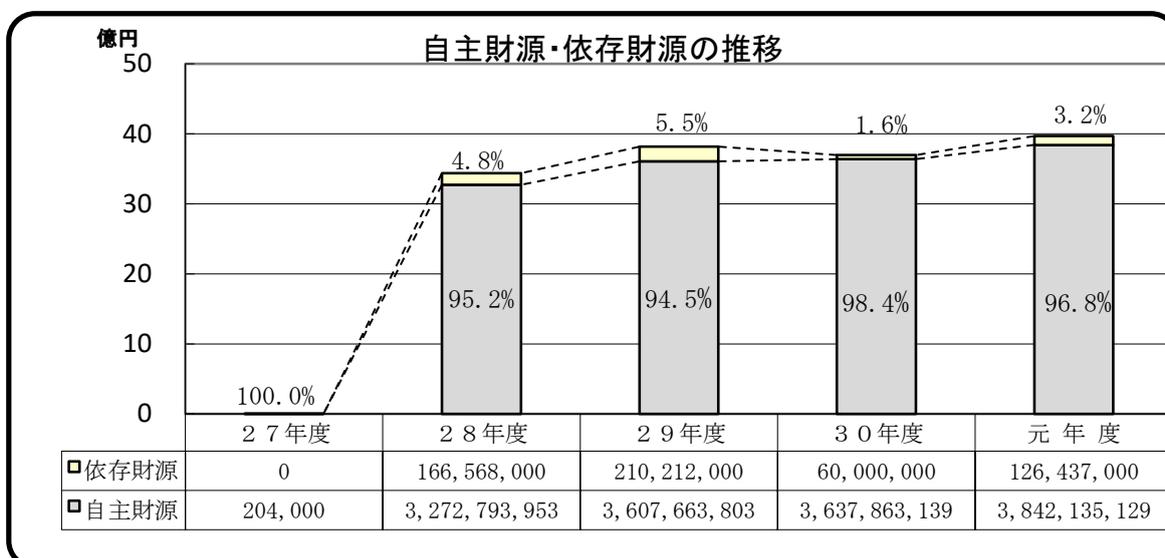
|      |            |                       |          |
|------|------------|-----------------------|----------|
| 自主財源 | 38億4,213万円 | 構成比 96.8% (前年度 98.4%) | 1.6ポイント減 |
| 依存財源 | 1億2,643万円  | 構成比 3.2% (前年度 1.6%)   | 1.6ポイント増 |

財源別の収入済額は、前年度に比べ自主財源では 2億427万円 (5.6%) 増加しています。この主な内訳は、次のとおりです。

|          |           |    |
|----------|-----------|----|
| 分担金及び負担金 | 1億7,579万円 | 増加 |
| 繰越金      | 3,494万円   | 増加 |

一方、依存財源では 6,643万円 (110.7%) 増加しています。この内訳は、次のとおりです。

|       |         |    |
|-------|---------|----|
| 組合債   | 5,240万円 | 増加 |
| 国庫支出金 | 1,403万円 | 皆増 |



また、組合債の年度末現在高は、次のとおりです。

(単位:円)

| 年 度 \ 区 分 | 発 行 額       | 元 金 償 還 額  | 年 度 末 現 在 高 |
|-----------|-------------|------------|-------------|
| 元 年 度     | 112,400,000 | 77,313,137 | 385,073,344 |
| 30年度      | 60,000,000  | 31,413,519 | 349,986,481 |
| 増 減       | 52,400,000  | 45,899,618 | 35,086,863  |

組合債の年度末現在高は 3億8,507万円、前年度に比べ 3,508万円 (10.0%) 増加しています。

これは、消防車両整備事業債等の発行額 1億1,240万円に対し、元金 7,731万円を償還したことによるものです。

## 第 1 款 分担金及び負担金 (決算構成比:90.8%)

《組合構成市からの負担金収入です。》

(単位:円・%)

| 区分<br>年度 | 予算現額          | 調定額           | 収入済額          | 予算現額と<br>収入済額との比較 | 収 入 率 |       |
|----------|---------------|---------------|---------------|-------------------|-------|-------|
|          |               |               |               |                   | 対予算   | 対調定   |
| 元        | 3,602,492,000 | 3,602,492,000 | 3,602,492,000 | 0                 | 100.0 | 100.0 |
| 30       | 3,426,693,000 | 3,426,693,000 | 3,426,693,000 | 0                 | 100.0 | 100.0 |
| 増減       | 175,799,000   | 175,799,000   | 175,799,000   | 0                 | 0.0   | 0.0   |

予算現額 36億249万円に対する収入済額は 36億249万円 (収入率 100.0%) です。  
また、収入済額は、前年度に比べ 1億7,579万円 (5.1%) 増加しています。

本年度の負担金収入 (収入済額) の内訳は、次のとおりです。

(単位:円)

| 区分<br>構成市 | 共通経費          | 単独経費       | 負担額           |
|-----------|---------------|------------|---------------|
| 草 加 市     | 2,514,704,000 | 95,035,000 | 2,609,739,000 |
| 八 潮 市     | 919,745,000   | 73,008,000 | 992,753,000   |

### (注) 構成市の経費負担について

経費負担は、組合規約により構成市が個別に負担する単独経費と共同で処理するための共通経費の2種類があります。

共通経費の負担割合は、前年度1月1日現在の住民基本台帳人口の割合により算出されます。

なお、平成29年度までは、構成市の負担割合が広域化前と広域化直後で急激に変わらないよう経過措置 (負担割合は、広域化前の消防費に係る決算額 (単独経費を除く。) の直近3年平均の割合) を設けていました。

(単位:%)

| 区分・年度<br>構成市 | 共通経費の負担割合 |       |       |       |       |
|--------------|-----------|-------|-------|-------|-------|
|              | 28年度      | 29年度  | 30年度  | 元年度   | 2年度   |
| 草 加 市        | 70.82     | 70.36 | 73.61 | 73.22 | 73.05 |
| 八 潮 市        | 29.18     | 29.64 | 26.39 | 26.78 | 26.95 |

## 第 2 款 使用料及び手数料 (決算構成比:0.1%)

《行政財産の使用に係るものや特定の者のために提供する公の役務に係る手数料等です。》

(単位:円・%)

| 区分<br>年度 | 予算現額      | 調定額         | 収入済額        | 予算現額と<br>収入済額との比較 | 収 入 率  |       |
|----------|-----------|-------------|-------------|-------------------|--------|-------|
|          |           |             |             |                   | 対予算    | 対調定   |
| 元        | 3,717,000 | 3,628,014   | 3,628,014   | △ 88,986          | 97.6   | 100.0 |
| 30       | 4,124,000 | 6,090,350   | 6,090,350   | 1,966,350         | 147.7  | 100.0 |
| 増減       | △ 407,000 | △ 2,462,336 | △ 2,462,336 | △ 2,055,336       | △ 50.1 | 0.0   |

予算現額 371万円に対する収入済額は 362万円 (収入率 97.6%) で、予算現額と収入済額との比較では 8万円減少しています。

この主な内訳は、次のとおりです。

|                     |      |    |
|---------------------|------|----|
| 消防手数料 (危険物関係許可等手数料) | 23万円 | 減少 |
| 消防使用料 (職員駐車場使用料)    | 13万円 | 増加 |

また、収入済額は、前年度に比べ 246万円 (40.4%) 減少しています。

この主な内訳は、次のとおりです。

|                     |       |    |
|---------------------|-------|----|
| 消防手数料 (危険物関係許可等手数料) | 213万円 | 減少 |
| 消防使用料 (行政財産使用料)     | 40万円  | 減少 |
| 消防使用料 (職員駐車場使用料)    | 8万円   | 増加 |

### 第 3 款 財産収入（決算構成比:0.1%）

《消防組合の財産に係る貸付、出資又は売り払いによって生じる現金収入です。》

（単位:円・%）

| 区分<br>年度 | 予算現額      | 調定額       | 収入済額        | 予算現額と<br>収入済額との比較 | 収 入 率  |        |
|----------|-----------|-----------|-------------|-------------------|--------|--------|
|          |           |           |             |                   | 対予算    | 対調定    |
| 元        | 4,622,000 | 4,993,140 | 3,684,680   | △ 937,320         | 79.7   | 73.8   |
| 30       | 4,759,000 | 4,955,079 | 4,955,079   | 196,079           | 104.1  | 100.0  |
| 増減       | △ 137,000 | 38,061    | △ 1,270,399 | △ 1,133,399       | △ 24.4 | △ 26.2 |

予算現額 462万円に対する収入済額は 368万円（収入率 79.7%）で、予算現額と収入済額との比較では 93万円減少しています。

この内訳は、次のとおりです。

使用料及び賃借料（自動販売機設置場所賃借料） 93万円 減少

また、収入済額は、前年度に比べ 127万円（25.6%）減少しています。  
この内訳は、次のとおりです。

使用料及び賃借料（自動販売機設置場所賃借料） 127万円 減少

調定額 499万円に対する収入率は 73.8%、収入未済額は 130万円で、前年度に比べ皆増しています。

この内訳は、次のとおりです。

使用料及び賃借料（自動販売機設置場所賃借料） 130万円 皆増

収入未済解消のため、年度内に組合預金口座への入金に着実になされるよう、納付期限の設定等に考慮した対応を望みます。

### 第 4 款 寄 附 金（決算構成比:0.0%）

《金銭の財産を無償譲渡されたものです。》

（単位:円・%）

| 区分<br>年度 | 予算現額  | 調定額 | 収入済額 | 予算現額と<br>収入済額との比較 | 収 入 率 |     |
|----------|-------|-----|------|-------------------|-------|-----|
|          |       |     |      |                   | 対予算   | 対調定 |
| 元        | 1,000 | 0   | 0    | △ 1,000           | 0.0   | —   |
| 30       | 1,000 | 0   | 0    | △ 1,000           | 0.0   | —   |
| 増減       | 0     | 0   | 0    | 0                 | 0.0   | —   |

本年度、寄附金はありません。

## 第 5 款 繰越金（決算構成比:5.7%）

《前年度から本年度へ資金を持ち越した財源です。》

（単位:円・%）

| 区分<br>年度 | 予算現額        | 調定額         | 収入済額        | 予算現額と<br>収入済額との比較 | 収 入 率 |       |
|----------|-------------|-------------|-------------|-------------------|-------|-------|
|          |             |             |             |                   | 対予算   | 対調定   |
| 元        | 227,744,000 | 227,742,016 | 227,742,016 | △ 1,984           | 100.0 | 100.0 |
| 30       | 192,799,000 | 192,798,477 | 192,798,477 | △ 523             | 100.0 | 100.0 |
| 増減       | 34,945,000  | 34,943,539  | 34,943,539  | △ 1,461           | 0.0   | 0.0   |

収入済額は 2億2,774万円で、前年度に比べ 3,494万円（18.1%）増加しています。

これは、前年度の剰余金であり、本年度に繰り越された事業の財源 1,166万円と、前年度の実質収支額 2億1,607万円で構成されています。

本年度に繰り越された事業の財源内訳は、次のとおりです。

繰越明許費財源充当額（一般財源） 1,166万円

なお、実質収支額は、本年度、組合構成市へ全額、返還金処理を行っています。

## 第 6 款 諸収入（決算構成比:0.1%）

《他の収入科目に含まれない収入科目です。》

（単位:円・%）

| 区分<br>年度 | 予算現額      | 調定額         | 収入済額        | 予算現額と<br>収入済額との比較 | 収 入 率  |       |
|----------|-----------|-------------|-------------|-------------------|--------|-------|
|          |           |             |             |                   | 対予算    | 対調定   |
| 元        | 3,191,000 | 4,588,419   | 4,588,419   | 1,397,419         | 143.8  | 100.0 |
| 30       | 4,121,000 | 7,326,233   | 7,326,233   | 3,205,233         | 177.8  | 100.0 |
| 増減       | △ 930,000 | △ 2,737,814 | △ 2,737,814 | △ 1,807,814       | △ 34.0 | 0.0   |

予算現額 319万円に対する収入済額は 458万円（収入率 143.8%）で、予算現額と収入済額との比較では 139万円増加しています。

この主な内訳は、次のとおりです。

雑入（消防業務賠償責任保険金） 83万円 皆増

雑入（建物総合損害共済保険金） 43万円 皆増

また、収入済額は、前年度に比べ 273万円（37.4%）減少しています。

この主な内訳は、次のとおりです。

雑入（建物総合損害共済保険金） 118万円 減少

救急業務受託事業収入（東京外環自動車国道救急業務支弁金） 88万円 減少

雑入（過年度分扶養手当返還金） 83万円 皆減

## 第 7 款 組 合 債 (決算構成比:2.8%)

《消防組合が各種事業の実施のための資金調達による債務で、その返済が一会計年度を越えて行われるものです。》

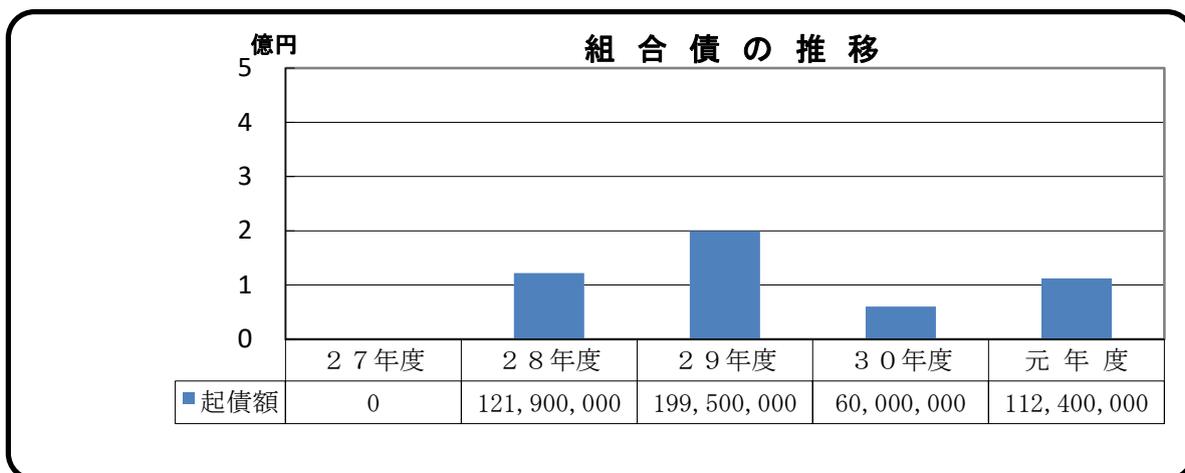
(単位:円・%)

| 区分<br>年度 | 予算現額        | 調定額         | 収入済額        | 予算現額と<br>収入済額との比較 | 収 入 率 |       |
|----------|-------------|-------------|-------------|-------------------|-------|-------|
|          |             |             |             |                   | 対予算   | 対調定   |
| 元        | 118,342,000 | 112,400,000 | 112,400,000 | △ 5,942,000       | 95.0  | 100.0 |
| 30       | 62,300,000  | 60,000,000  | 60,000,000  | △ 2,300,000       | 96.3  | 100.0 |
| 増減       | 56,042,000  | 52,400,000  | 52,400,000  | △ 3,642,000       | △ 1.3 | 0.0   |

収入済額は 1億1,240万円で、前年度に比べ 5,240万円 (87.3%) 増加しています。  
この主な内訳は、次のとおりです。

|                           |         |    |
|---------------------------|---------|----|
| 消防車両整備事業債 (消防車両整備事業)      | 6,070万円 | 皆増 |
| 消防団車両整備事業債 (八潮市消防団車両整備事業) | 130万円   | 増加 |
| 消防車両整備事業債 (高規格救急自動車整備事業)  | 910万円   | 減少 |

組合債の推移及び内訳は、次のとおりです。



(単位:円)

| 区 分 \ 年 度              | 27年度 | 28年度        | 29年度        | 30年度       | 元年度         |
|------------------------|------|-------------|-------------|------------|-------------|
| 消 防 車 両<br>整 備 事 業 債   |      | 101,700,000 | 153,700,000 | 25,000,000 | 76,600,000  |
| 消 防 団 車 両<br>整 備 事 業 債 |      |             | 38,300,000  | 28,000,000 | 30,300,000  |
| 消 防 施 設<br>整 備 事 業 債   |      |             |             |            |             |
| 消 防 団 施 設<br>整 備 事 業 債 |      | 20,200,000  |             |            |             |
| 消 防 水 利<br>整 備 事 業 債   |      |             | 7,500,000   | 7,000,000  | 5,500,000   |
| 合 計                    | 0    | 121,900,000 | 199,500,000 | 60,000,000 | 112,400,000 |

## 第 8 款 国庫支出金 (決算構成比:0.4%)

《国から消防組合に対して、負担金・補助金等の名称により交付される支出金です。》

(単位:円・%)

| 区分<br>年度 | 予算現額       | 調定額        | 収入済額       | 予算現額と<br>収入済額との比較 | 収 入 率 |       |
|----------|------------|------------|------------|-------------------|-------|-------|
|          |            |            |            |                   | 対予算   | 対調定   |
| 元        | 13,958,000 | 14,037,000 | 14,037,000 | 79,000            | 100.6 | 100.0 |
| 30       | —          | —          | —          | —                 | —     | —     |
| 増減       | 13,958,000 | 14,037,000 | 14,037,000 | 79,000            | 100.6 | 100.0 |

予算現額 1,395万円に対する収入済額は 1,403万円 (収入率 100.6%) で、予算現額と収入済額との比較では 7万円増加しています。

この内訳は、次のとおりです。

|                        |     |    |
|------------------------|-----|----|
| 消防費国庫補助金 (消防団施設整備費補助金) | 7万円 | 皆増 |
|------------------------|-----|----|

また、収入済額は、前年度に比べ皆増しています。

この内訳は、次のとおりです。

|                          |         |    |
|--------------------------|---------|----|
| 消防費国庫補助金 (高規格救急自動車購入補助金) | 1,395万円 | 皆増 |
| 消防費国庫補助金 (消防団施設整備費補助金)   | 7万円     | 皆増 |

### (3) 歳 出

歳出決算状況は、次のとおりです。

(単位:円・%)

| 区分<br>年度 | 予算現額          | 支出済額          | 翌年度繰越額       | 不用額         | 執行率  |
|----------|---------------|---------------|--------------|-------------|------|
| 元        | 3,974,067,000 | 3,744,375,566 | 0            | 229,691,434 | 94.2 |
| 30       | 3,694,797,000 | 3,470,121,123 | 11,664,000   | 213,011,877 | 93.9 |
| 増減       | 279,270,000   | 274,254,443   | △ 11,664,000 | 16,679,557  | 0.3  |

予算現額 39億7,406万円に対する支出済額（歳出決算額）は 37億4,437万円（執行率 94.2%）で、不用額は 2億2,969万円です。

支出済額は、前年度に比べ 2億7,425万円（7.9%）増加しています。  
 款別にみた主な内訳は、次のとおりです。

|     |           |    |
|-----|-----------|----|
| 消防費 | 1億9,645万円 | 増加 |
| 公債費 | 4,594万円   | 増加 |
| 総務費 | 3,265万円   | 増加 |

なお、詳細については、次表の款別歳出決算額のとおりです。

翌年度繰越額は、前年度に比べ皆減しています。

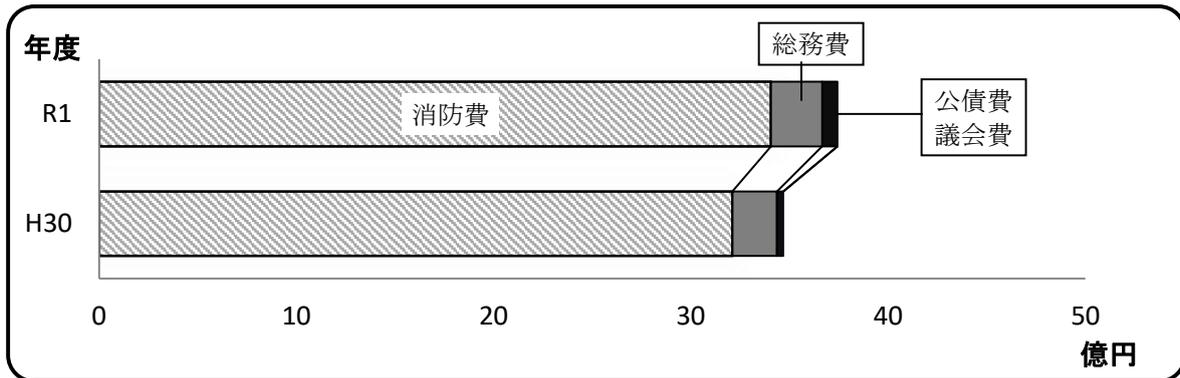
不用額は、前年度に比べ 1,667万円（7.8%）増加しています。  
 款別にみた主な内訳は、次のとおりです。

|     |         |    |
|-----|---------|----|
| 消防費 | 1,569万円 | 増加 |
| 総務費 | 87万円    | 増加 |

款別歳出決算額

(単位:円・%)

| 款     | 元年度           | 構成比   | 30年度          | 比較増減        |
|-------|---------------|-------|---------------|-------------|
| 1 議会費 | 856,661       | 0.0   | 1,656,195     | △ 799,534   |
| 2 総務費 | 259,294,334   | 6.9   | 226,637,176   | 32,657,158  |
| 3 消防費 | 3,406,739,556 | 91.0  | 3,210,283,423 | 196,456,133 |
| 4 公債費 | 77,485,015    | 2.1   | 31,544,329    | 45,940,686  |
| 5 予備費 | —             | —     | —             | —           |
| 合計    | 3,744,375,566 | 100.0 | 3,470,121,123 | 274,254,443 |



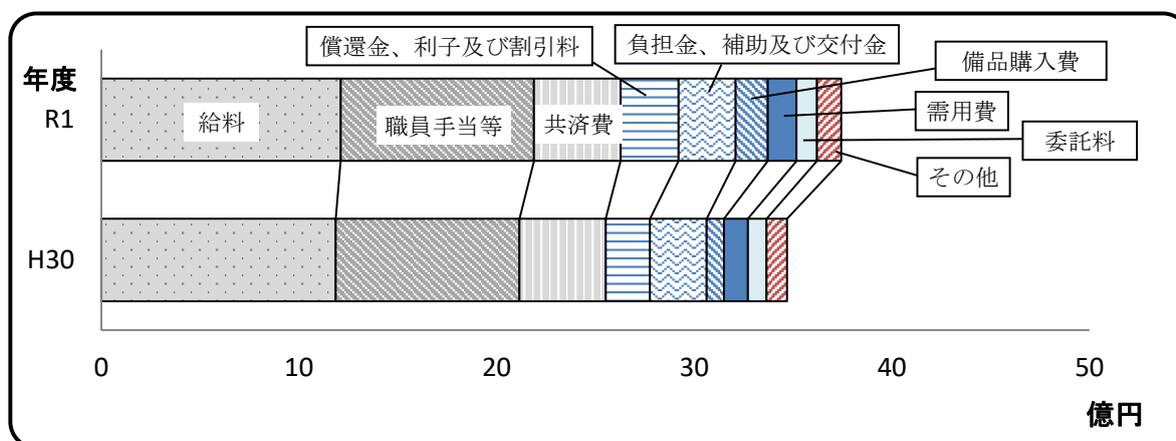
また、支出済額を節別にみますと、次表の節別歳出決算額のとおりです。  
 なお、主な増減は、次のとおりです。

|             |         |    |
|-------------|---------|----|
| 備品購入費       | 7,502万円 | 増加 |
| 償還金、利子及び割引料 | 6,922万円 | 増加 |
| 職員手当等       | 4,862万円 | 増加 |
| 需用費         | 2,524万円 | 増加 |
| 給料          | 2,467万円 | 増加 |
| 工事請負費       | 2,027万円 | 増加 |

節別歳出決算額

(単位:円・%)

| 節  |             | 元年度           | 構成比   | 30年度          | 比較増減        |
|----|-------------|---------------|-------|---------------|-------------|
| 1  | 報酬          | 26,408,208    | 0.7   | 26,946,350    | △ 538,142   |
| 2  | 給料          | 1,210,674,630 | 32.3  | 1,186,003,585 | 24,671,045  |
| 3  | 職員手当等       | 978,619,016   | 26.1  | 929,995,047   | 48,623,969  |
| 4  | 共済費         | 437,947,618   | 11.7  | 436,120,712   | 1,826,906   |
| 5  | 災害補償費       | 60,000        | 0.0   | 10,000        | 50,000      |
| 6  | 恩給及び退職年金    | 0             | 0.0   | 0             | 0           |
| 7  | 賃金          | 6,311,946     | 0.2   | 9,270,628     | △ 2,958,682 |
| 8  | 報償費         | 392,400       | 0.0   | 388,800       | 3,600       |
| 9  | 旅費          | 12,679,300    | 0.3   | 12,252,966    | 426,334     |
| 10 | 交際費         | 96,000        | 0.0   | 107,000       | △ 11,000    |
| 11 | 需用費         | 145,837,090   | 3.9   | 120,596,985   | 25,240,105  |
| 12 | 役務費         | 21,132,483    | 0.6   | 20,751,614    | 380,869     |
| 13 | 委託料         | 102,912,343   | 2.8   | 95,261,099    | 7,651,244   |
| 14 | 使用料及び賃借料    | 23,657,138    | 0.6   | 22,613,258    | 1,043,880   |
| 15 | 工事請負費       | 29,550,400    | 0.8   | 9,276,595     | 20,273,805  |
| 16 | 原材料費        | 281,655       | 0.0   | 343,356       | △ 61,701    |
| 17 | 公有財産購入費     | 0             | 0.0   | 0             | 0           |
| 18 | 備品購入費       | 162,650,717   | 4.4   | 87,621,123    | 75,029,594  |
| 19 | 負担金、補助及び交付金 | 288,897,340   | 7.7   | 286,642,699   | 2,254,641   |
| 20 | 扶助費         | 0             | 0.0   | 0             | 0           |
| 21 | 貸付金         | 0             | 0.0   | 0             | 0           |
| 22 | 補償、補填及び賠償金  | 320,451       | 0.0   | 100,000       | 220,451     |
| 23 | 償還金、利子及び割引料 | 293,563,031   | 7.8   | 224,342,806   | 69,220,225  |
| 24 | 投資及び出資金     | 0             | 0.0   | 0             | 0           |
| 25 | 積立金         | 0             | 0.0   | 0             | 0           |
| 26 | 寄附金         | 0             | 0.0   | 0             | 0           |
| 27 | 公課費         | 2,383,800     | 0.1   | 1,476,500     | 907,300     |
| 28 | 繰出金         | 0             | 0.0   | 0             | 0           |
| 合計 |             | 3,744,375,566 | 100.0 | 3,470,121,123 | 274,254,443 |

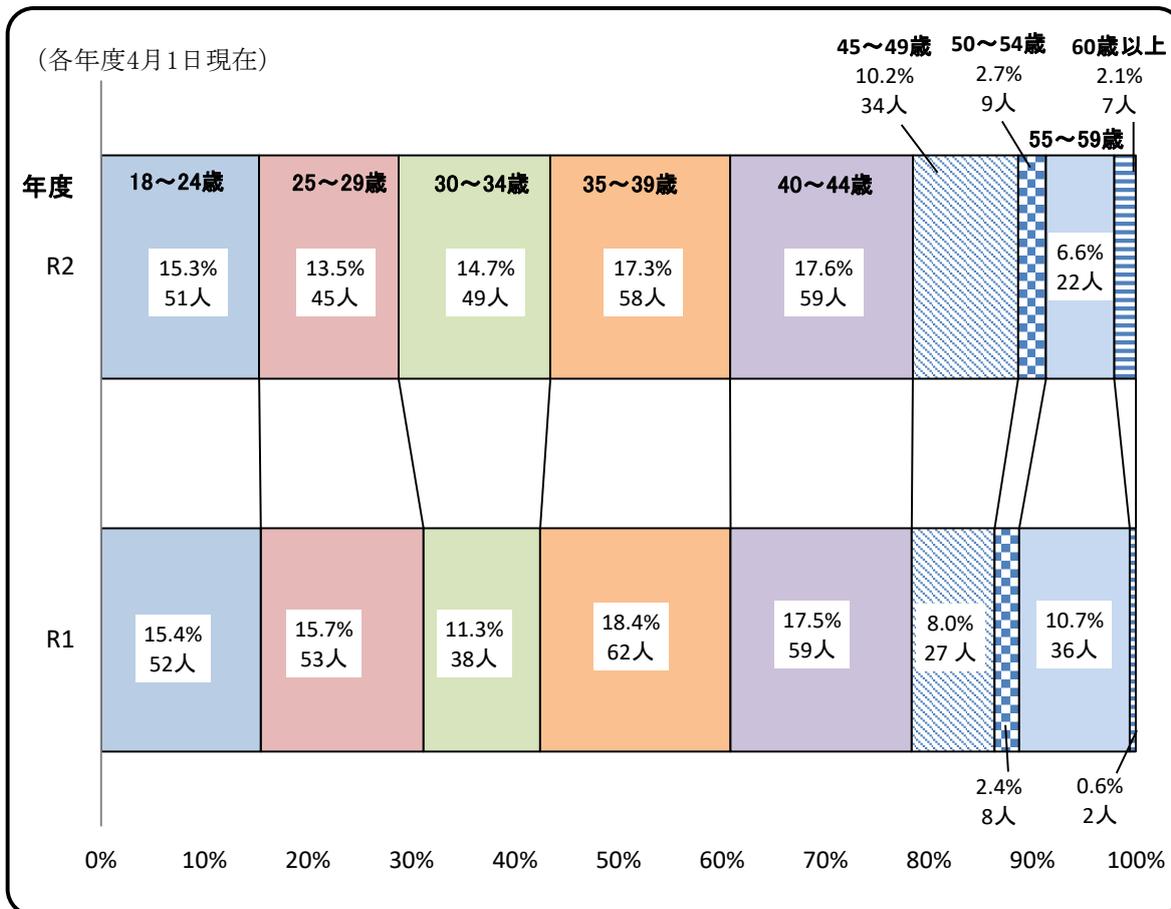


その他

報酬、災害補償費、賃金、報償費、旅費、交際費、役務費、使用料及び賃借料、工事請負費、原材料費、補償、補填及び賠償金、公課費

## 年齢区分別職員構成の推移

2カ年の年齢区分別職員構成の推移は、次のとおりです。



なお、関連資料として決算審査資料の「資料4 職員年齢分布」に「年齢別職員数」及び「年齢区分別職員割合の将来推計」を掲載しています。

## 職員の退職等及び任用の状況

2カ年の職員の退職等及び任用の状況は、次のとおりです。

(単位:人)

| 退職等の状況(平成31年4月1日～令和2年3月31日) |    |      |    |          |          |           |    | 任用の状況(令和2年4月1日) |     |     |    |     | 実員数<br>令和2年<br>4月1日 |     |
|-----------------------------|----|------|----|----------|----------|-----------|----|-----------------|-----|-----|----|-----|---------------------|-----|
| 定年                          | 勸奨 | 自己都合 | 死亡 | 分限<br>退職 | 懲戒<br>免職 | 再任用<br>満了 | 合計 | 新規採用            |     |     |    | 再任用 |                     | 合計  |
|                             |    |      |    |          |          |           |    | 高校卒             | 短大卒 | 大学卒 | 小計 |     |                     |     |
| 12                          | 2  | 4    | 0  | 0        | 0        | 2         | 20 | 6               | 0   | 4   | 10 | 7   | 17                  | 334 |

| 退職等の状況(平成30年4月1日～平成31年3月31日) |    |      |    |          |          |           |    | 任用の状況(平成31年4月1日) |     |     |    |     | 実員数<br>平成31年<br>4月1日 |     |
|------------------------------|----|------|----|----------|----------|-----------|----|------------------|-----|-----|----|-----|----------------------|-----|
| 定年                           | 勸奨 | 自己都合 | 死亡 | 分限<br>退職 | 懲戒<br>免職 | 再任用<br>満了 | 合計 | 新規採用             |     |     |    | 再任用 |                      | 合計  |
|                              |    |      |    |          |          |           |    | 高校卒              | 短大卒 | 大学卒 | 小計 |     |                      |     |
| 3                            | 3  | 2    | 0  | 0        | 1        | 1         | 10 | 4                | 5   | 5   | 14 | 2   | 16                   | 337 |

(注) 条例定数337人(平成31年4月1日施行)

## 第 1 款 議 会 費 (決算構成比:0.0%)

《議会費は、組合議会議員の報酬及び組合議会の運営等に要する経費を支出したものです。》

(単位:円・%)

| 区分<br>年度 | 予算現額      | 支出済額      | 翌年度繰越額 | 不用額       | 執行率    |
|----------|-----------|-----------|--------|-----------|--------|
| 元        | 2,428,000 | 856,661   | 0      | 1,571,339 | 35.3   |
| 30       | 2,425,000 | 1,656,195 | 0      | 768,805   | 68.3   |
| 増減       | 3,000     | △ 799,534 | 0      | 802,534   | △ 33.0 |

予算現額 242万円に対する支出済額は 85万円（執行率 35.3%）で、不用額は 157万円です。

主な支出済額は、報酬 49万円、備品購入費 14万円です。

支出済額は、前年度に比べ 79万円（48.3%）減少しています。

これは主に、調査・研究に要する行政視察に係る旅費の減少によるものです。

不用額は、前年度に比べ 80万円（104.4%）増加しています。

主な不用額は、旅費 123万円、備品購入費 15万円です。

## 第 2 款 総 務 費 (決算構成比:6.9%)

《総務費は、主に消防行政の運営に要する経費を支出したものです。》

(単位:円・%)

| 区分<br>年度 | 予算現額        | 支出済額        | 翌年度繰越額 | 不用額       | 執行率   |
|----------|-------------|-------------|--------|-----------|-------|
| 元        | 262,377,000 | 259,294,334 | 0      | 3,082,666 | 98.8  |
| 30       | 228,840,000 | 226,637,176 | 0      | 2,202,824 | 99.0  |
| 増減       | 33,537,000  | 32,657,158  | 0      | 879,842   | △ 0.2 |

予算現額 2億6,237万円に対する支出済額は 2億5,929万円（執行率 98.8%）で、不用額は 308万円です。

主な支出済額は、償還金、利子及び割引料 2億1,607万円、委託料 1,766万円、負担金、補助及び交付金 1,442万円です。

支出済額は、前年度に比べ 3,265万円（14.4%）増加しています。

これは主に、前年度繰越金に係る草加市負担金返還金の増加によるものです。

不用額は、前年度に比べ 87万円（39.9%）増加しています。

主な不用額は、委託料 127万円、負担金、補助及び交付金 73万円、需用費 55万円です。

### 第 3 款 消 防 費 (決算構成比:91.0%)

《消防費は、常備消防と消防団の運営に要する経費を支出したものです。》

(単位:円・%)

| 区分<br>年度 | 予算現額          | 支出済額          | 翌年度繰越額       | 不用額         | 執行率  |
|----------|---------------|---------------|--------------|-------------|------|
| 元        | 3,627,370,000 | 3,406,739,556 | 0            | 220,630,444 | 93.9 |
| 30       | 3,426,883,000 | 3,210,283,423 | 11,664,000   | 204,935,577 | 93.7 |
| 増減       | 200,487,000   | 196,456,133   | △ 11,664,000 | 15,694,867  | 0.2  |

予算現額 36億2,737万円に対する支出済額は 34億673万円（執行率 93.9%）で、不用額は 2億2,063万円です。

主な支出済額は、人件費を除き、地震体験車購入費 4,504万円、高規格救急自動車購入費 3,436万円、消防指令システム保守点検委託料 2,808万円、消防ポンプ自動車購入費（草加市消防団） 2,442万円です。

支出済額は、前年度に比べ 1億9,645万円（6.1%）増加しています。

これは主に、車両更新計画に基づく常備消防車両の更新費用の増加及び繰越明許費を含めた消防施設改修工事費（草加消防署）の増加によるものです。

翌年度繰越額は、前年度に比べ皆減しています。

不用額は、前年度に比べ 1,569万円（7.7%）増加しています。

主な不用額は、職員手当等 8,112万円、共済費 3,371万円、負担金、補助及び交付金 3,314万円です。

### 第 4 款 公 債 費 (決算構成比:2.1%)

《公債費は、一般会計における地方債の元金償還、利子の支払い等に要する経費を支出したものです。》

(単位:円・%)

| 区分<br>年度 | 予算現額       | 支出済額       | 翌年度繰越額 | 不用額       | 執行率  |
|----------|------------|------------|--------|-----------|------|
| 元        | 77,832,000 | 77,485,015 | 0      | 346,985   | 99.6 |
| 30       | 32,335,000 | 31,544,329 | 0      | 790,671   | 97.6 |
| 増減       | 45,497,000 | 45,940,686 | 0      | △ 443,686 | 2.0  |

予算現額 7,783万円に対する支出済額は 7,748万円（執行率 99.6%）で、不用額は 34万円です。

支出済額は、すべて償還金、利子及び割引料で、前年度に比べ 4,594万円（145.6%）増加しています。

これは、元金償還金の増加によるものです。

また、不用額は、前年度に比べ 44万円（56.1%）減少しています。

主な不用額は、利子償還金 27万円です。

## 第 5 款 予 備 費 (決算構成比:—)

《予備費は、予定外の支出又は予算超過の支出へ対応するため、用途を特定しないで予算に費用として計上したものです。》

(単位:円・%)

| 区分<br>年度 | 当初予算額     | 充 用 額   | 予算現額<br>(充用残額) | 執 行 率 |
|----------|-----------|---------|----------------|-------|
| 元        | 5,000,000 | 940,000 | 4,060,000      | 18.8  |
| 30       | 5,000,000 | 686,000 | 4,314,000      | 13.7  |
| 増減       | 0         | 254,000 | △ 254,000      | 5.1   |

(注) 執行率は、当初予算額に対する充用額で算出しています。

予備費の充用を行ったものは4件 94万円で、前年度に比べ 25万円 (37.0%) 増加しています。

- ◇ 総務費 (3件) 69万円  
裁判に係る弁護士委託料
- ◇ 消防費 (1件) 24万円  
火災現場における民間事業者所有重機の使用に係る費用負担

## 2 実質収支に関する調書

実質収支に関する調書の記載事項は、適正に表示されているものと認められました。

## 3 財産に関する調書

財産の各項目の現在高は、次のとおりです。

### (1) 公有財産

#### ① 土地

(単位：㎡)

| 区 分     | 前年度末<br>現在高 | 決算年度中増減高 |   | 決算年度末<br>現在高 |
|---------|-------------|----------|---|--------------|
|         |             | 増        | 減 |              |
| 行 政 財 産 | 17,186      | 0        | 0 | 17,186       |

土地は、本年度中の増減はありません。

#### ② 建 物

(単位：㎡)

| 区 分     | 前年度末<br>現在高 | 決算年度中増減高 |   | 決算年度末<br>現在高 |
|---------|-------------|----------|---|--------------|
|         |             | 増        | 減 |              |
| 行 政 財 産 | 10,713      | 0        | 0 | 10,713       |

建物は、本年度中の増減はありません。

### (2) 物 品

(単位：台)

| 区 分                         | 前年度末<br>現在高 | 決算年度中増減高 |   | 決算年度末<br>現在高 |
|-----------------------------|-------------|----------|---|--------------|
|                             |             | 増        | 減 |              |
| 車 両                         | 88          | 7        | 5 | 90           |
| 事 務 機 械 類<br>(取得価格 50 万円以上) | 0           | 0        | 0 | 0            |
| その他の備品類<br>(取得価格 50 万円以上)   | 213         | 19       | 6 | 226          |

物品のうち車両については、新規購入が7台、廃棄が5台です。新規購入車両は、貨物自動車2台、消防ポンプ車等2台、救急車1台、その他の車両2台です。廃棄車両は、貨物自動車1台、消防ポンプ車等2台、救急車1台、その他の車両1台です。

## 4 む す び

近年、風水害を初め激甚災害に指定される自然災害が日本各地で発生しており、当地域においても同様の災害の発生が危惧されるところ、新型コロナウイルス感染症の影響からも持

続可能な消防体制の確立が強く求められています。

このような中、草加八潮消防組合では、消防の広域化によるスケールメリットを活かし、消防力の強化、住民サービスの向上に重点を置いた取組を推進しています。

#### (1) 決算収支について

令和元年度一般会計の決算総額は、歳入決算額 39億6,857万円、歳出決算額 37億4,437万円で、前年度に比べ、歳入額は 2億7,070万円、歳出額は 2億7,425万円それぞれ増加しています。

また、歳入から歳出を差し引いた形式収支は 2億2,419万円となり、翌年度へ繰り越すべき財源及び繰上償還額がないことから、実質収支及び実質単年度収支は、形式収支と同額の 2億2,419万円となります。

#### (2) 歳入について

一般会計の予算現額 39億7,406万円に対する歳入決算額は 39億6,857万円（収入率 99.9%）で、前年度に比べ 2億7,070万円（7.3%）増加しています。

この要因としては、車両更新計画に基づく常備消防車両の更新費用の増に伴う組合債の増加及び前年度剰余金である繰越金の増加によるものです。

なお、構成市負担金の歳入に占める割合は 90.8%です。

#### (3) 歳出について

一般会計の歳出決算額は 37億4,437万円（執行率 94.2%）で、前年度に比べ 2億7,425万円（7.9%）増加しています。

この要因としては、車両更新計画に基づく常備消防車両の更新費用の増加及び公債費の元金償還金の増加によるものです。

なお、令和元年度は草加消防署配備の地震体験車のリース契約終了に伴う新規購入並びに高規格救急自動車及び指揮車の更新、さらに草加市消防団及び八潮市消防団の消防ポンプ自動車が各 1 台更新されています。

#### (4) 今後の組合運営について

近年、激甚災害に指定されるような風水害が日本各地で発生しています。昨年 10 月の台風 19 号上陸の際には、綾瀬川の谷古宇水位観測所、中川の吉川水位観測所において氾濫危険水位を超えるなど、当地域においても甚大な被害がいつ発生してもおかしくない状況にありました。

本組合管内には、中川、綾瀬川を初めとする数多くの一級河川が存在し、浸水被害が生じた場合には、消防車両の水没や消防署所機能の停止も危惧されます。市民の生命、身体及び財産を守るという消防機関本来の責務を果たすためにも、災害活動拠点となる消防施設には、消防車両や指令センター等の必要な資機材・機能を備えた上で、水害を初めとする自然災害から市民を守り続ける必要があると考えます。

自然災害が猛威を振るう中、世界各地で新型コロナウイルス感染症患者が確認されるようになり、多くの健康被害とこれに伴う大きな社会的影響がもたらされています。

消防機関は、新型コロナウイルス感染症の脅威の中にあっても、市民生活に欠かせない

業務を遂行する責務を有していますので、業務継続体制の確保に尽力することを強く求めます。

消防の広域化から4度目の決算を迎えましたが、この間、高度救助隊の発足を初め、広域化のメリットを活かした消防車両の整備など、着実に消防力は向上しています。今後は、各署所に特色を持たせた部隊を配置するなど、魅力的な組織づくりを行うことで消防がさらに活性化することを期待します。

新型コロナウイルス感染症の影響により、財政的にも非常に厳しい状況下にあります。今後も、消防を取り巻く社会環境の変化を的確に捉え、組合構成市との緊密な協議を行い、中・長期的な視点に立った消防体制の充実強化に努めるよう強く要望します。

一 般 会 計  
決 算 審 查 資 料

一般会計決算審査資料

資料1 一般会計歳入決算額前年度比較表

| 区分・年度<br>款別 | 予 算 現 額       |               |         | 調 定 額         |               |         |
|-------------|---------------|---------------|---------|---------------|---------------|---------|
|             | 元 (A)         | 30 (B)        | (A)/(B) | 元 (C)         | 30 (D)        | (C)/(D) |
| 1 分担金及び負担金  | 3,602,492,000 | 3,426,693,000 | 105.1   | 3,602,492,000 | 3,426,693,000 | 105.1   |
| 2 使用料及び手数料  | 3,717,000     | 4,124,000     | 90.1    | 3,628,014     | 6,090,350     | 59.6    |
| 3 財産収入      | 4,622,000     | 4,759,000     | 97.1    | 4,993,140     | 4,955,079     | 100.8   |
| 4 寄附金       | 1,000         | 1,000         | 100.0   | 0             | 0             | —       |
| 5 繰越金       | 227,744,000   | 192,799,000   | 118.1   | 227,742,016   | 192,798,477   | 118.1   |
| 6 諸収入       | 3,191,000     | 4,121,000     | 77.4    | 4,588,419     | 7,326,233     | 62.6    |
| 7 組合債       | 118,342,000   | 62,300,000    | 190.0   | 112,400,000   | 60,000,000    | 187.3   |
| 8 国庫支出金     | 13,958,000    | —             | 皆増      | 14,037,000    | —             | 皆増      |
| 合 計         | 3,974,067,000 | 3,694,797,000 | 107.6   | 3,969,880,589 | 3,697,863,139 | 107.4   |

(単位:円・%)

| 収入済額          |               |         | 不納欠損額 |    | 収入未済額     |    | 収入率          |              | 決算額<br>構成比<br>(収入<br>済額) | 区分・年度<br><br>款別 |
|---------------|---------------|---------|-------|----|-----------|----|--------------|--------------|--------------------------|-----------------|
|               |               |         |       |    |           |    | 対予算          | 対調定          |                          |                 |
| 元 (E)         | 30 (F)        | (E)/(F) | 元     | 30 | 元         | 30 | 元<br>(E)/(A) | 元<br>(E)/(C) | 元                        |                 |
| 3,602,492,000 | 3,426,693,000 | 105.1   | 0     | 0  | 0         | 0  | 100.0        | 100.0        | 90.8                     | 1 分担金及び<br>負担金  |
| 3,628,014     | 6,090,350     | 59.6    | 0     | 0  | 0         | 0  | 97.6         | 100.0        | 0.1                      | 2 使用料及び<br>手数料  |
| 3,684,680     | 4,955,079     | 74.4    | 0     | 0  | 1,308,460 | 0  | 79.7         | 73.8         | 0.1                      | 3 財産収入          |
| 0             | 0             | —       | 0     | 0  | 0         | 0  | 0.0          | —            | 0.0                      | 4 寄附金           |
| 227,742,016   | 192,798,477   | 118.1   | 0     | 0  | 0         | 0  | 100.0        | 100.0        | 5.7                      | 5 繰越金           |
| 4,588,419     | 7,326,233     | 62.6    | 0     | 0  | 0         | 0  | 143.8        | 100.0        | 0.1                      | 6 諸収入           |
| 112,400,000   | 60,000,000    | 187.3   | 0     | 0  | 0         | 0  | 95.0         | 100.0        | 2.8                      | 7 組合債           |
| 14,037,000    | —             | 皆増      | 0     | —  | 0         | —  | 100.6        | 100.0        | 0.4                      | 8 国庫支出金         |
| 3,968,572,129 | 3,697,863,139 | 107.3   | 0     | 0  | 1,308,460 | 0  | 99.9         | 100.0        | 100.0                    | 合計              |

資料2 一般会計財源別(自主財源・依存財源)前年度比較表

| 財源別  |          | 令和元年度         |       | 平成30年度        |       |
|------|----------|---------------|-------|---------------|-------|
|      |          | 収入済額 (A)      | 構成比   | 収入済額 (B)      | 構成比   |
| 自主財源 | 分担金及び負担金 | 3,602,492,000 | 90.8  | 3,426,693,000 | 92.7  |
|      | 使用料及び手数料 | 3,628,014     | 0.1   | 6,090,350     | 0.2   |
|      | 財産収入     | 3,684,680     | 0.1   | 4,955,079     | 0.1   |
|      | 寄附金      | 0             | 0.0   | 0             | 0.0   |
|      | 繰越金      | 227,742,016   | 5.7   | 192,798,477   | 5.2   |
|      | 諸収入      | 4,588,419     | 0.1   | 7,326,233     | 0.2   |
|      | 小計       | 3,842,135,129 | 96.8  | 3,637,863,139 | 98.4  |
| 依存財源 | 組合債      | 112,400,000   | 2.8   | 60,000,000    | 1.6   |
|      | 国庫支出金    | 14,037,000    | 0.4   | —             | —     |
|      | 小計       | 126,437,000   | 3.2   | 60,000,000    | 1.6   |
| 合計   |          | 3,968,572,129 | 100.0 | 3,697,863,139 | 100.0 |

(単位:円・%)

| 比較          |        | 区分・年度     |      |
|-------------|--------|-----------|------|
| 増減額 (A - B) | 増減率    | 財源別       |      |
| 175,799,000 | 5.1    | 分担金及び負担金  | 自主財源 |
| △ 2,462,336 | △ 40.4 | 使用料及び手数料  |      |
| △ 1,270,399 | △ 25.6 | 財 産 収 入   |      |
| 0           | —      | 寄 附 金     |      |
| 34,943,539  | 18.1   | 繰 越 金     |      |
| △ 2,737,814 | △ 37.4 | 諸 収 入     |      |
| 204,271,990 | 5.6    | 小 計       |      |
| 52,400,000  | 87.3   | 組 合 債     | 依存財源 |
| 14,037,000  | 皆増     | 国 庫 支 出 金 |      |
| 66,437,000  | 110.7  | 小 計       |      |
| 270,708,990 | 7.3    | 合 計       |      |

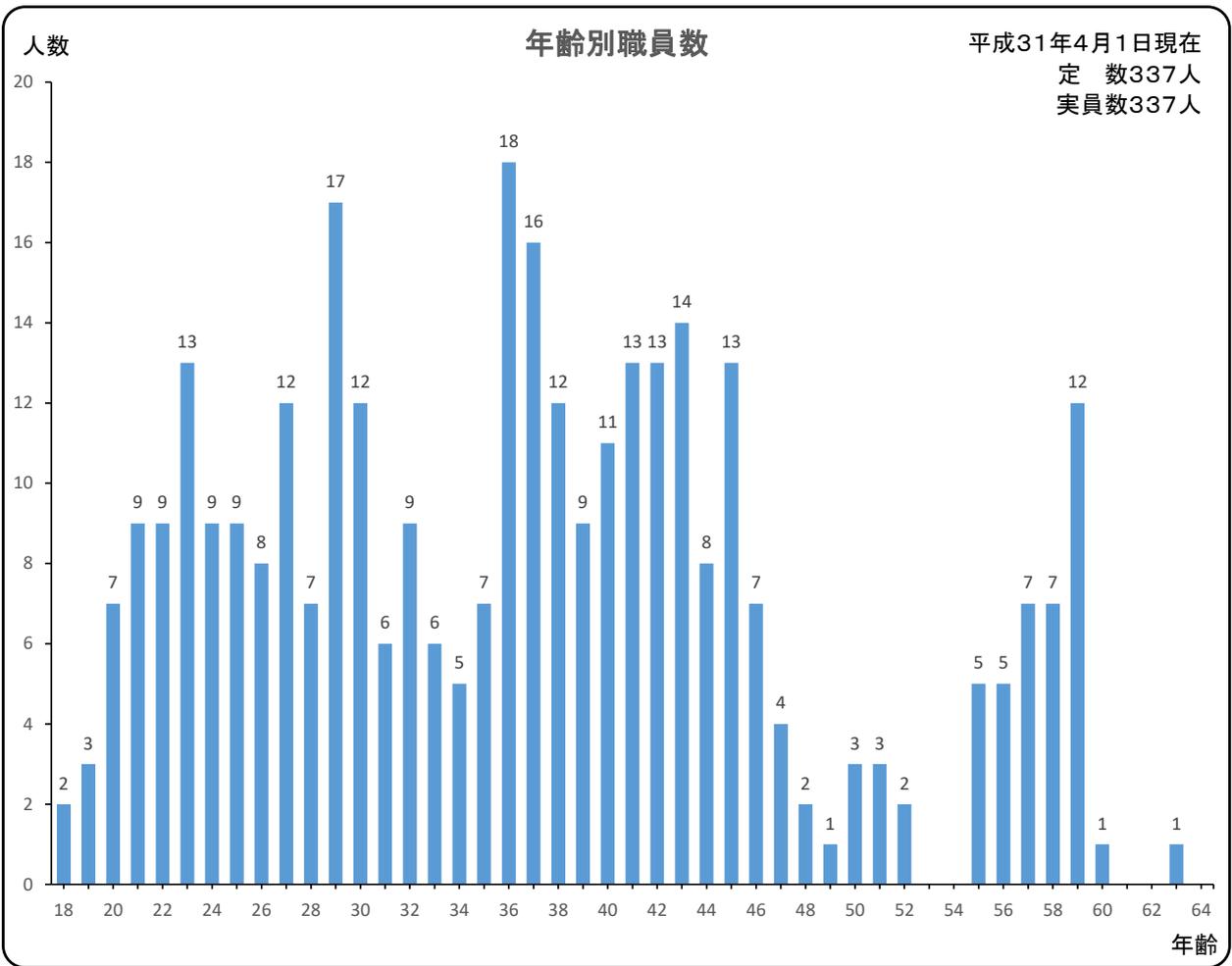
**資料3 一般会計歳出決算額前年度比較表**

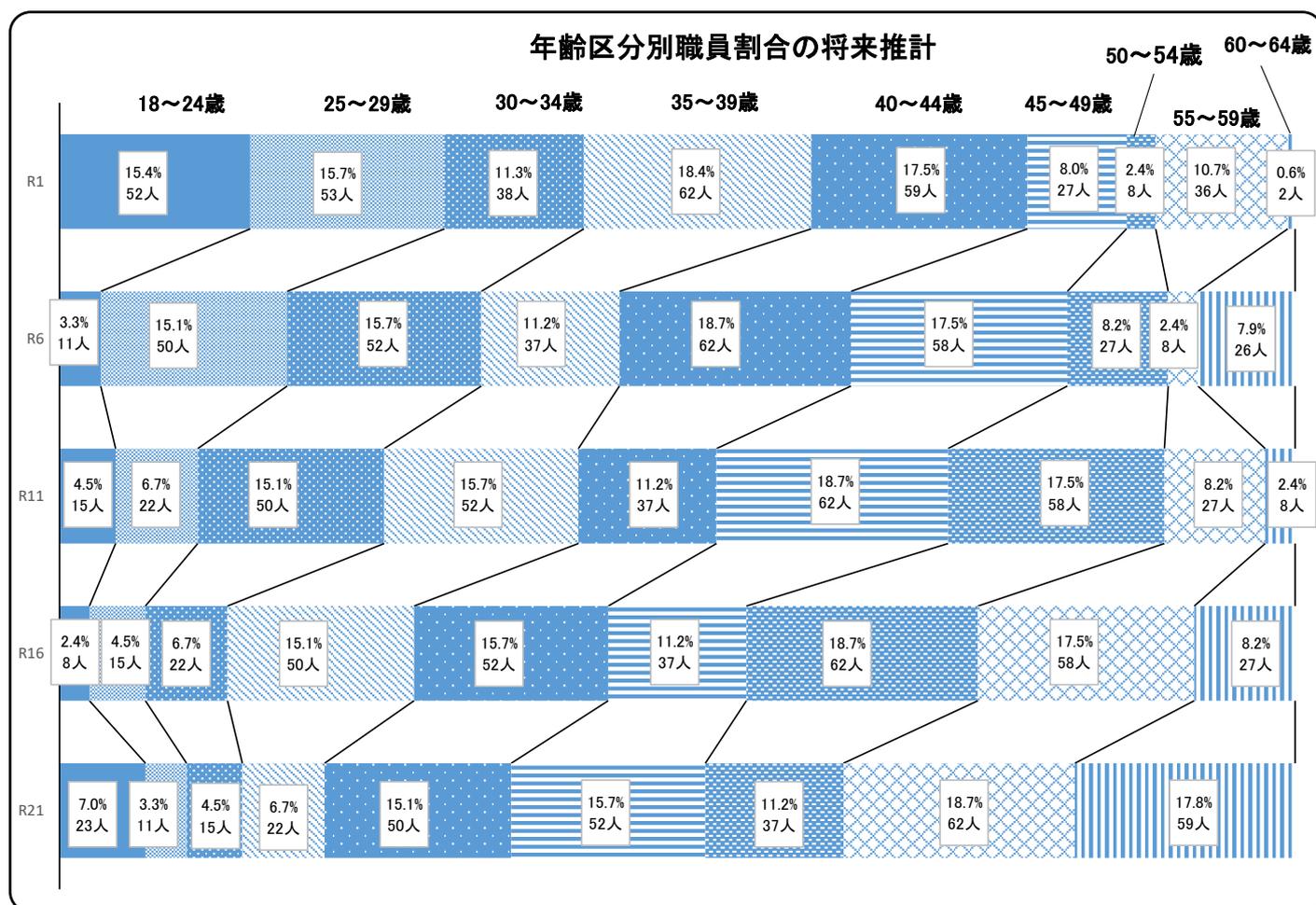
| 区分・年度<br>款 別 | 予 算 現 額              |               |         | 支 出 済 額              |               |         |
|--------------|----------------------|---------------|---------|----------------------|---------------|---------|
|              | 元 (A)                | 30 (B)        | (A)/(B) | 元 (C)                | 30 (D)        | (C)/(D) |
| 1 議 会 費      | <b>2,428,000</b>     | 2,425,000     | 100.1   | <b>856,661</b>       | 1,656,195     | 51.7    |
| 2 総 務 費      | <b>262,377,000</b>   | 228,840,000   | 114.7   | <b>259,294,334</b>   | 226,637,176   | 114.4   |
| 3 消 防 費      | <b>3,627,370,000</b> | 3,426,883,000 | 105.9   | <b>3,406,739,556</b> | 3,210,283,423 | 106.1   |
| 4 公 債 費      | <b>77,832,000</b>    | 32,335,000    | 240.7   | <b>77,485,015</b>    | 31,544,329    | 245.6   |
| 5 予 備 費      | <b>4,060,000</b>     | 4,314,000     | 94.1    | —                    | —             | —       |
| 合 計          | <b>3,974,067,000</b> | 3,694,797,000 | 107.6   | <b>3,744,375,566</b> | 3,470,121,123 | 107.9   |

(単位:円・%)

| 翌年度繰越額 |            |         | 不 用 額       |             |         | 執 行 率        |               | 決算額<br>構成比<br>(支出済額) |       | 区分・年度<br>款 別 |
|--------|------------|---------|-------------|-------------|---------|--------------|---------------|----------------------|-------|--------------|
| 元 (E)  | 30 (F)     | (E)/(F) | 元 (G)       | 30 (H)      | (G)/(H) | 元<br>(C)/(A) | 30<br>(D)/(B) | 元                    | 30    |              |
| 0      | 0          | —       | 1,571,339   | 768,805     | 204.4   | 35.3         | 68.3          | 0.0                  | 0.1   | 1 議 会 費      |
| 0      | 0          | —       | 3,082,666   | 2,202,824   | 139.9   | 98.8         | 99.0          | 6.9                  | 6.5   | 2 総 務 費      |
| 0      | 11,664,000 | 皆減      | 220,630,444 | 204,935,577 | 107.7   | 93.9         | 93.7          | 91.0                 | 92.5  | 3 消 防 費      |
| 0      | 0          | —       | 346,985     | 790,671     | 43.9    | 99.6         | 97.6          | 2.1                  | 0.9   | 4 公 債 費      |
| —      | —          | —       | 4,060,000   | 4,314,000   | 94.1    | —            | —             | —                    | —     | 5 予 備 費      |
| 0      | 11,664,000 | 皆減      | 229,691,434 | 213,011,877 | 107.8   | 94.2         | 93.9          | 100.0                | 100.0 | 合 計          |

### 資料4 職員年齢分布





(注1) 基準日は、各年度とも4月1日としています。

(注2) 各年度とも、実員数に対する年齢区分ごとの割合を示しています。

(注3) 令和元年度は、平成31年4月1日現在の実員数(337人)を基に算出しています。

(注4) 令和6年度以降の推計にあたっては、令和2年4月1日現在の実員数を基に、次の条件を加味した上で算出しています。

(1) 実員数

条例定数(331人)と実員数との間に差が生じないものとして仮定しています。なお、平成31年4月から令和4年3月31日までの間の条例定数は、草加八潮消防組合職員定数条例(平成28年条例第17号)附則第2項において、337人と規定されています。

(2) 再任用職員

定年退職者は、65歳に達する日以後における最初の3月31日までの間、フルタイムで再任用するものと仮定しています。ただし、令和5年については、令和4年3月31日で条例定数の経過措置が終了するため、定年退職者全員をフルタイムで再任用した場合には、条例定数(331人)を超えてしまうことから、その超えた人数に限り、短時間勤務に充てるものとして仮定しています。

(3) 新規採用職員

退職者(再任用満了者)が生じ、条例定数と実員数との間に差が生じた場合には、当該人数を新規採用するものとして仮定しています。なお、新規採用者の年齢は、一律22歳としています。

